



雪谷の清流

平成29年 3月 23日発行
岩手県立軽米高等学校通信 No.4
文責:副校長 松場 喜美夫

平成 29 年度国公立大学入試終了

公立大学に進みます。長く国公立2ヶタを目標としてきた本校としては3年ぶりに目標達成となりました。また、3学年在籍者に対する合格者割合では17.5%となり、この値は**創立以来最高の値**となりました。進路の詳細については、学校ホームページを御覧ください。卒業生の4月からの企業や学校での活躍をお祈りいたします。

3月21日、国公立大学の後期日程の合格発表があり、本校から1名が合格し、これまでの推薦5名、前期日程5名と合わせて合計11名が国

新年度0学期 春季課外・学習合宿実施

毎年のことですが、3月は、高校入試を挟んで登校日が飛び飛びになり、さらに、部活動もできる日やできる時間が限られていて、どうしても落ち着かない日々が続いていると思います。

そうした中、Bコースは3月17日(金)～19日(日)までの3日間、本校教員を講師に県北青少年の家で学習合宿を行い、延べ960分の講座と自学自習に励みました。

また、3月21日(火)～22日(水)は、Aコースはマナトレと進路研究講座を実施しました。21日の講座では、株式会社マイナビの葛西紘太郎様を講師に、「企業が求める力」という講義や代表生徒との「模擬面接」を行いました。3年Bコースは代々木ゼミナールからお招きした太田貴之先生(国語)、高橋伸行先生(英語)、小田島裕太先生(数学)の熱のこもる講義を受講しました。

2月の後期末考査終了から新年度の授業が始まるまでの約2ヶ月間は「0学期」と言われます。前述のとおり登校日は飛び飛びですが、この時期をいかに目標を持って取り組むか否かは、1年後に大きな違いとなって現れます。

進路という点では、就職希望者は、企業見学は難しいですが、保護者や親戚、知人、先輩などから情報を収集したり、今回の講座で学んだ履歴書の書き



方や面接での応答などを整理したりすることも重要です。進学希望者は、間違えた問題集ノートを作ったり、要点を整理したりする時間としても良いでしょう。

私自身の経験でいうと、新学期に向けて、新しいノートを用意して、何事も1からスタートしようとして、3までしかできなかった。5で挫折した。そこで、もう一度1からやり直し、というようなことをしていたように思います。今、自分のどこが弱点でしょうか。6からやっても良いでしょう。8を完璧にするということも良いでしょう。弱いところ(それを見極めることも一つの能力です)を重点的に補強することが必要です。

健康面では、通院の必要な人は春休みに通院しましょう。まだまだ、インフルエンザや感染性胃腸炎等の話を耳にします。バランスのとれた食事と規則正しい生活をし、雪も融けてきましたので適度に運動し「強く 逞し」い体を作ってほしいと思います。

学習にしろ、進路研究にしろ、体作りにしろ、与えられたものを消化する「作業」に終わってははいけません。自分のこと、自分がやってきたことに責任を持てるよう、自分をしっかり見つめ、振り返ってください。

自分は何がしたいのか。

自分は何ができるのか。

自分はどうなればよいか。

自分は今何をするのか、明日何をするのか、来週何をするのか、来月…、来年…。

しっかり見つめるために必要なことは、それを記録し、表現する言葉です。美しいことば、普段自分が使わないことばを見つける。自分の大切な一冊の本と出会う読書も、すてきな過ごし方になるでしょう。有意義な春休み、0学期であることを期待しています。

1・2年皆勤賞

2月28日の卒業式予行では、3年生の皆精勤48名を表彰しましたと軽高通信第3号でお知らせしましたが、3月23日(木)には、皆勤者1年生15名、2年生30名を表彰しました。来年度はさらにたくさんの人を表彰したいものです。

海外派遣報告会

2月23日、軽米町・一戸町海外派遣の校内報告会を行いました。例年は、学校訪問や公共施設の見学など盛りだくさんの内容でしたが、今回は記録的な大雪で、予定は全てキャンセルし、ホームステイのみとなりました。その分英語漬けの毎日となりましたと報告がありました。



お知らせ

新年度は、4月6日(木)の始業式でスタートします。

各自の新年度、新入生を迎える準備をして、忘れ物の無いように登校してください。○町から英検・漢検の受験料の補助をさせていただいておりますが、一人ひとりの受験についての補助の仕方を新年度から変更します。詳細は新年度にお知らせします。

軽高通信第2号で紹介した第4回北いわて学生ファッションデザインコンテストの優秀作品の展示が盛岡市の川徳で行われました。2年の荻谷玲奈さんの作品(後列左)も展示されていました。



原盤の写真はカラーです。学校ホームページからご覧ください。
ご意見・ご感想は 軽米高等学校 TEL 46-2320 e-mail kar-h@iwate-ed.jp まで